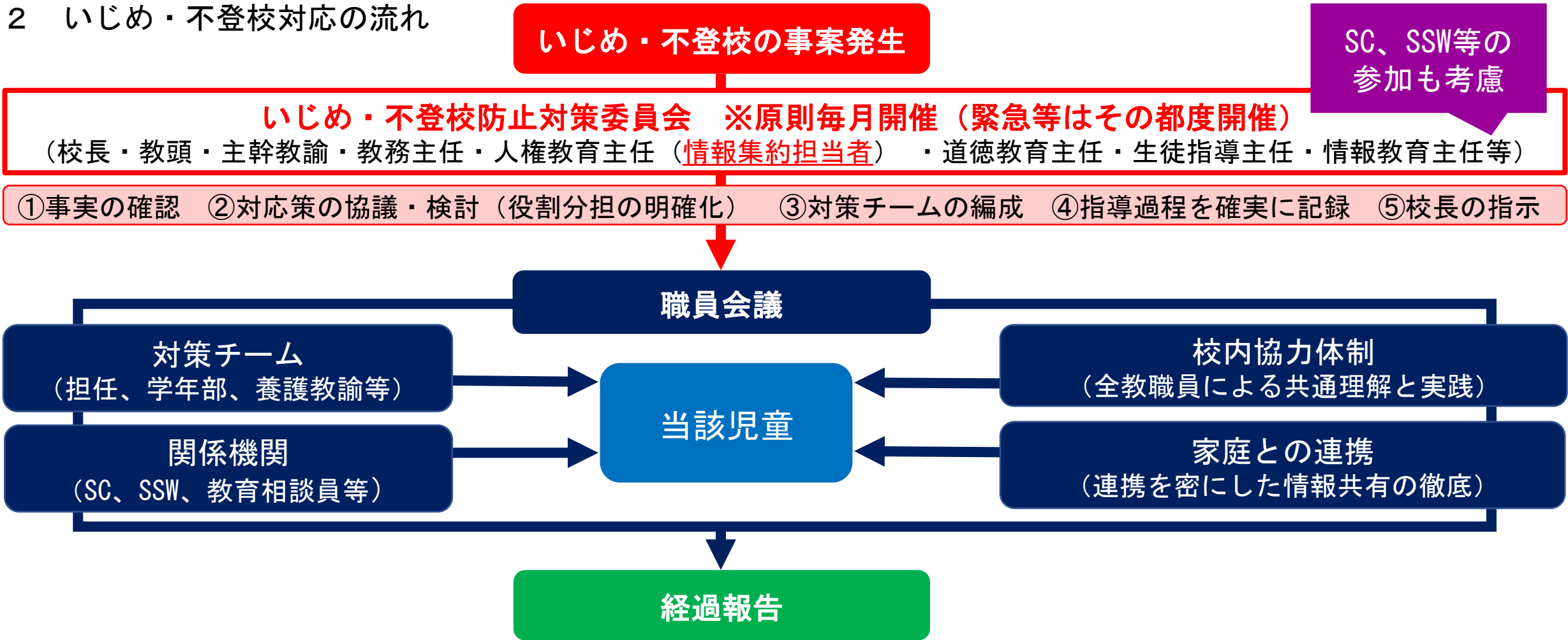


山鹿小学校 いじめ・不登校対策マニュアル

1 基本認識

いじめ・不登校は、「どの学校、どの学級でも起こりうるもの」という基本認識に立ち、学校の教育活動全体を通して、全ての児童を対象に、いじめ・不登校に向かわせないための未然防止と、早期発見・早期対応に取り組む。

2 いじめ・不登校対応の流れ



3 具体的な取組
いじめ対応

いじめ対応の主な流れ

- ①発見者が、教頭・情報集約担当者（以下担当）に情報を報告する。担当は、校長へ報告するとともに情報を整理する。
- ②担当は、いじめ対策委員会を開催し、指導・支援体制を組む。
- ③担任は、児童（いじめられた児童、いじめた児童、いじめを見ていた児童）への具体的指導・支援を、スピード感をもって行う。同様に、保護者への連絡・指導も行う。

支援の段階	主な具体的取組
未然防止	○児童がわかる、児童が活躍できる授業づくりに努める。 ○教師の言動を振り返る場を設定する。
早期発見	○日記指導やアンケート（本校独自アンケート6月、心のアンケート11月）等を効果的に活用し、小さな変化も逃さず対応する。

不登校対応

支援の段階	主な具体的取組
未然防止	○児童が安心・安全して学べる学校の風土・雰囲気づくりを心がけ、全教職員が共通認識を持って取り組む。 ○専門家等とも連携しながら、SST等の授業実践を積み重ねる。
初期対応	○「愛の1・2・3運動＋1」を徹底する。欠席10日に到達するまでには、学校内外の専門機関との連携も図る。 ○不登校対策委員会を定期的に開催し、関係者を交え、支援方法等を検討する。
自立支援	○適応指導教室等と連携し、情報共有を密にすることで、支援体制を構築する。 ○教室と家庭をつなぐため、ICT活用による学習支援等を行う。

4 主な関係機関

- ☎熊本県いじめ・子ども安全相談電話（24時間、0570-078310）
- ☎熊本県立教育センター教育相談室（平日9～17時、0968-44-6655）
- ☎菊池教育事務所（平日8:30～17:15、0968-25-3351）
- ☎山鹿市教育委員会（指導室）（平日8:30～17:15、0968-43-1391）
- ☎山鹿警察署（0968-44-0110）